

富岡地域づくり 協議会だより



第25号

令和5年6月9日

広報委員会

<https://www.town-tomioka.click/>

富岡地区文化祭が開催されました



令和4年11月19日（土）・20日（日）の2日間、富岡まちづくりセンターにて、富岡地区文化祭が開催されました。

主なイベントは、各サークル・団体等による作品展示及び活動報告、芸能音楽発表会、図書館富岡分館によるリサイクルブック市及びスペシャルおはなし会、おっぺすとみおかによる紙芝居大会、そして、模擬店でした。

この2年間新型コロナウイルスの感染によって、本文化祭も中止になっていて、3年ぶりの開催になります。また、今年度もコロナウイルス感染の先行き不透明感等も重なって、参加を見合わせたサークル・団体もあり、飲食の制限やバザーの中止等も重なって、例年からみて活気が足りないのではという懸念もありました。

それでも、開会してみると、日曜日が小雨交じりの寒い日であったにも拘わらず、2日間を通して1500名を超える参加者があり、盛会裏に実施できたことに安堵しているところです。当該事業に主体的に参加し、あるいは、見学者として参会いただいた方が、かくも大勢いると、事業そのものが盛り上がることも実感できました。多岐に亘るひとの力が、その事業の成功か否かの判断基準のひとつになることも納得できました。

「展示してあった作品がすばらしかった」「まちづくりセンターを中心に様々な活動が行われていることを知ることができました」「合唱や舞踊、ダンス、フラダンス、オカリナ演奏、落語等すばらしい発表がみられてよかった」「綿あめが食べられてうれしかった」等々の感想が聞かれました。また、作品や発表をみて刺激を受け、自分もやってみたいという前向きな意見も聞かれました。

今回のような事業を行うことにより、見るあるいは観るひとに感動や刺激を与えることになります。また、事業に関わる当人にとって、達成感や充実感を実感できることにもつながります。とりわけ、創作作品を展示し、ないしは、身につけたスキルを発表することは、その技術やセンス、美的技法、和み、癒し等を他のひとに提供したり・実感してもらったりできる機会でもあります。この意味で、有益な事業のひとつであると思います。



ところで、富岡地区文化祭は、文字通り富岡地区の文化を示すバロメーター的な事業でもあると思います。各サークル・団体が、年間を通して活動してきた成果を発表できる機会でもあります。同時に、地域にある施設や事業所、養護老人ホーム・デイサービスセンター等の活動紹介の場及び機会にもなります。

みる側からすると、一堂に会した作品展示や各サークルや団体の発表や活動報告等を一会場で、幅広くみたり聞いたりできる大事な機会でもあるということになります。

これらを含め、富岡地区の文化の向上及び発展・充実のため、今まで以上のご支援・ご協力を賜りたいと存じます。宜しくお願いします。

結びに、富岡地区文化祭の開催にあたり、運営及び実施に関わっていただきました皆様、また、見学においていただきました大勢の皆様、本当にありがとうございました。

自転車安全教室が開催されました



令和4年11月1日（火）14時30分より、富岡まちづくりセンターホール及び第3駐車場にて、自転車安全教室が開催されました。富岡地域づくり協議会の地域安全部会主催によるものです。講師は、所沢警察署交通課及び所沢市防犯交通安全課の3名でした。参加者は17名で、自転車の安全講習と実技指導が行われました。

講習では、講師による講義及びDVDの視聴を通して、交通ルールを含め安全運転の仕方等について学びました。小冊子及び関連のチラシもご用意いただき、大変参考になりました。

いうまでもなく、自転車は道路交通法では軽車両に位置づけられ、「車のなかま」になります。道路を通行するときは、車として交通ルールを遵守することになります。その上に、安全運転も求められます。

実技では、模擬信号を使った車道や歩道での自転車の乗り方を確認しました。ここでは、自分の自転車で具体的に体験でき、その技術をしっかり身につけられたと思います。

ところで、報道によると自転車による交通事故が増加しています。事故で亡くなった人の約8割、けがをした人の約6割が自転車側にもルール違反が認められるそうです。また、約8割が自動車との事故で、その半分以上が出会い頭の衝突による事故だそうです。自転車と歩行者の交通事故も多く、自転車単独事故も増加傾向にあるようです。

このため、信号無視や一時不停止、右側通行、飲酒運転等の重大なルール違反及び危険行為については、厳重な取り締まりを行っているという情報もありました。

交通ルールを守り、安全運転に心がけて、自転車の運転をすることが肝要だと思います。機会をみて、こうした自転車安全教室等に参加してみるのもいかがでしょうか。

最後になりますが、本安全教室の開催にあたり、ご尽力いただきました皆様、そして、ご参加いただきました皆様には、心より感謝申し上げます。

<編集後記>

さつまいものおいしい季節になりました。

煮物、石やきいも、天ぷら、大学いも・・・等々、さつまいもは様々な調理に利用される食材でもあります。この辺りでは「川越いも」が有名で、「栗よりうまい十三里」という名言まで残っています。川越から江戸まで十三里あったことに由来してできたことばで、十三里は味の良いさつまいもを代表したとのこと。

我々が子どもの頃には、この富岡でもさつまいもの栽培が盛んで、多くの畑で作られていました。収穫時には、さつまいもから粘着質の物質が出て、手が黒く汚れて、しっかり洗わないと落ちないものという印象が残っています。収穫したいもの一部は粉にひいてもらいました。その粉と水と一緒に練って、「さつまだんご」なる、真っ黒な食べ物もよく作られました。子どもなりに、あまくておいしかったことを覚えています。

富岡地域づくり協議会 渡辺多一会長が過日ご逝去されました。本協議会の発足時から会長を務められ、永年に亘りその充実・発展のために多大なるご尽力をいただきました。その功績は様々な事業に残されていて、その存在の大きさが思い起こされます。

その功労に感謝申し上げ、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。